

Renewed!



ふんわり



とすわり・る

それぞれの場所で輝きながら、
ずっと立っている人に、会いにいきました。
「わたしは、こっち。」
さて、あなたは？

ゆむらしょうてん

ゆむら商店

湯村香子さん

Yumura Kouko



宮城県大崎市岩出山下川原10-2
Instagram @yumura_shouten



日々の考えにアンテナをはり巡らせて。

お店の中に入ると木でできた商品棚と、大きなテーブル。シンプルですっきりとした店内で迎えてくれたゆむら商店の湯村香子さん。

ゼロ・ウェイストル・ゴミを極力出さずに。をコンセプトとしたお店はプラスチックフリーの日用品、洗剤、ソイミートやナッツ類、ひじきなどの食品を量り売りで購入できます。容器をお客様に持参してもらい必要な分だけ購入することで、食品ロス・使い余らすことを減らし包装ごみも減らすことができるのです。そして今後は日常で使える調味料などをお店でだいたい揃えられるようにしたいそうです。

「物珍しいお店ができたな」というオープン当初の反応から、「ゼロ・ウェイスト生活を意識し始めたところ、気持ちがいい！」とお店に通う地元のお客様や環境意識の高い方が県外からも来店します。

私たちを取り囲む環境問題。生きている限りゴミを出し続けてしまいます。ずっと昔は自然の恵みを利用して物資やエネルギーを賄っていました。「昔の方が循環した暮らしをしていたのにね」と、ありとあらゆる資源をハジからハジまで使いこむ、日本人が持つ「もったいない」精神は、便利さとともに希薄になってしまった気がします。便利さばかりを追い続けた結果、大量のゴミや食品ロスが発生していて、常に問題と背合わせの状態なのだな。と感じます。

ゴミを減らすべく肅々と一人で立ち向かうのは気が遠く、心が折れそうになってしまいましたが、「そのうち」ではなく、「日々の考えにアンテナをはり巡らせて、一緒に発信していきましょう！」と凛とした力強いメッセージをいただきました。：気のせいか、お話しを伺ううち、となりのレタスも賛同するように「いきいき」しだしたように思えました。

今号の
読者
プレゼント!

スプラウト
ペンシル
詳しくはp11を



紙袋や空き瓶などを持参し、
量り売り。エコなお買い物。



自然な暮らしの、 おすそわけ。

Cover Story

今回の表紙は湯村香子さん。ゆむら商店の店内で撮影させて頂きました。

背景の壁の1面が近所の古民家の外壁材、解体前に丁寧に剥がして再利用しているそう。

長い年月風雨に耐えた力強い木の質感がとても美しいです。アップサイクルされた壁がお店のコンセプトと合ってとても素敵です。



ふんわりすと	
ゆむら商店 湯村香子さん	2
サスティナライフ森の家／KURIMOKU	
宝来工場、まもなく完成!	4
連載	
ZERO WASTE is Creative!	6
社会福祉法人鳴子こども園	
初めまして、鳴子こども園と申します。	6
キッズシェフの親子でお料理楽しもう!	
ブルーベリーヨーグルトのアイス	7
もりたびの会	
フィールドミュージアムトレインに乗ってみませんか?	8
NPO法人しんりん	
夏のお庭の草取りに。	9
連載	
木の図鑑「スギ」	10
ウェスタ	
ペレットストーブ	10
CLOSE UP profile	
小野寺大さん	11
プレゼントコーナー	
スプラウトペンシル／ブロックメモ	11
About Us	
キーワードはふんわり。	12
Books funwari	
かみさまからのおくりもの	12

No staples.

ホチキスを使わずに。

ふんわりではホチキスを使用していません。リサイクルするときのことを考えて、このような形でお届けします。ちょっと不便だけどちょっとやさしい。どうかご理解ください。

編集長の
ふんわりと

新しくなった「ふんわり」を手にとった
だきあげがとうございます。

リニューアルの為に少しお休みを頂いてしま
い、ご心配をおかけしてしまっただかも……。新し
い部分もかわらない部分もありますが、自然
と共に、暮らしを豊かにしてくれる、情報の
「おすそわけ」を受け取って下さい。

編集部みんな、リニューアル作業お疲れ
さまでした!!

宝来工場、 たからぎ

山や田んぼに囲まれ、栗駒山を遠くに望む、栗原市栗駒 旧宝来小学校、宝来幼稚園跡地。ここが株式会社・CHPの新工場『宝来工場』です。サステイナライフ森の家では今回、工場8棟の新築と、旧幼稚園の園舎を再利用した事務所棟の改修を施工しました。弊社の特色である木造にこだわり、材料には可能な限り自然素材を使用しました。今回は、完成したばかりの宝来工場の一部を写真でご紹介します。



1 2
3 4
5 6

1 工場の入口でお客様をお迎えるのは、旧幼稚園園舎を改修し、新たに生まれ変わった事務所棟です。弊社くりはら加工場もこちらへ引っ越しました。**2** フリーアドレス（自由座席）制を採用した事務所スペース。壁・床に無垢のスギ材を使用した、ほっとするような温かみのあるお仕事スペースです。**3** 窓際のカウンター席は、外の景色を眺めながら仕事ができる特等席。コーヒーを飲みながらカフェ気分も味わえます。**4** 木削ぎ材製造棟の天井に架けられた太い梁（はり）。建物の強度を高めるために、一部の棟ではこんなに太いタイコ梁も使われています。一番太いところでは幅が40cm以上もあるそう！**5 6** 工場内を歩くと、材料を空気で送る「空送」のシルバーの配管が目に入ってきます。木材を仕上げる際に出る木くずを乾燥設備へ空送する配管、乾燥させた木くずをペレット製造棟へ送る配管です。ペレット製造棟へ送られた木くずが圧縮加工されて、最終的にペレットストーブの燃料『木質ペレット』になります。余すところなく木を活用するために、この工場では木が空を飛んでいるのです。



木材のカスケード利用、 その究極の形のひとつ。

★1 扱う木材はすべて国産材。伐った場所・人の分かる丸太を仕入れ、製材することでトレーサビリティの確認が可能です。

★2 建築・家具材として利用のできない木材をチップ化。

★3 チップ燃料を熱源とした乾燥機で木材をじっくり乾燥させていきます。

★4 木材を仕上げる際に出るカンナ屑を原材料とした木質ペレット。木が持つ成分を活かし、圧縮することで成形しており、接着剤などの薬剤は一切使用していません。

★5 木を余すことなく使いきるために生まれたオリジナルの家具や木工品は「節」「木目」「色味」も個性となるようすべて手仕事によりつくられています。

すべて目で追える生産体制により、森林循環を活性化させ、未来を担う人材の育成、環境にも負荷をかけず、廃棄物をださない取り組みに全力で取り組んでいます。

ペレット製造事業や木材乾燥事業、木質バイオマス発電事業などを行う宝来工場がこの度、誕生しました。土砂災害防止などの役割果たす健全な森林環境保全のためにも「伐って・使って・育てる」森林の循環を推進していくことが必要です。工場内では木材のカスケード利用、木材の副産物利用・残材利用の流れを辿ることのできる自社一貫体制をとっています。



定点カメラが追う！ ～ペレット原料乾燥棟完成まで～





text by: Yumura Kouko

今号のふんわりすとのゆむら商店 湯村香子さんに4回にわたってゼロ・ウェイストについてコラムをお願いしました。ゴミを極力出さない、量り売り、0が100かではなく、0から1、2、3、少しずつ生活に取り入れられるアイデアを教えてください。

ZERO WASTE is Creative!

我が家を見渡すと、ダーニングで繕った靴下やニット、ギブスをされた玄関ほうき、Google先生に教えを請いながら直した掃除機などつぎはぎの物が多々あります。

捨てないくらし、ゼロウェイストを実践中の我が家では、何か物が壊れたり必要な物が出たら、まずは修理できないか今ある物で代用できないかを検討し、その後やはり買わねばとなった時は値段やデザインだけではなく長く使えるかを大きな判断材料にしています。

とはいえ、まだまだゼロウェイストとは言い難く、お菓子の袋や野菜のプラ袋やら(これらは心外な買い物ではあるけれど)日々のちいさなゴミは出ますが、あれこれ暮らしの中で工夫し、購入品を注意深く選ぶことでぐっとゴミが減るので、楽しみながらゴミゼロを目指しています。

そんな私たちのゼロウェイスト生活の強

い味方はコンポスト。廃材を組み合わせで夫が作ったこれまたつぎはぎの品で、奥行き50cm幅100cm、高さ40cmほどの大きな目サイズのキエーロタイプ。

なんとも頼もしい包容力のキエーロくん、バナナの皮だって魚の骨だってなんだってがっちり受け止めてくれ、あとは太陽と風と微生物があっという間に土に還してくれるのです。

さらにうれしい副産物は、たまにコンポストの中から出てくる野菜の芽。

先日はきゅうりの芽らしきものがひょっこり出ていて、「ひゃっほー!」と思わず小躍り。その後畑に植え替えました。なんとすばらしき循環するくらし!

コンポストを使い始めてからは、週2だったゴミ出しの頻度が月1〜2回ほどに激減。自分の行動でゴミを減らしたという感覚が実感としてしっかり感じられるアイテムです。

「ゼロウェイスト・ホーム」の翻訳者服部雄一郎さんの言葉を借りると

「ゼロウェイストはクリエイティブ」

なんでも便利に揃う世の中で、受動的ではなく能動的に、ゴミを減らすを自ら創造していく暮らしなのだと思います。



このたび、ふんわりのお仲間に入れていただき記事を掲載させていただくことになりました。私たちは今年創立100周年を迎えるとともに、奇跡的に新しい園舎を建てることができました。設計は茨城県の里山建築研究所のみなさんに、伐採をNPO法人しんりんさん、製材をくりこまぐんえんさん、施工をサステイナライブ森の家の皆さんに携わっていただきました。おかげさまで、木の香りが心地よい「板倉造り」の園舎が完成しました。今回の建て替えで大切にしたいことのひとつは、ふるさと鳴子の木を使いたいということ。昔からの大工さんの言い伝えに「家を建てるなら、裏山で採れた木を使うと家が長持ちする」



初めまして、
鳴子温泉地域に
あります
社会福祉法人
鳴子こども園と
申します。

chef TAIHEI
& MICHI mama

recipe: 1

キッズシェフの

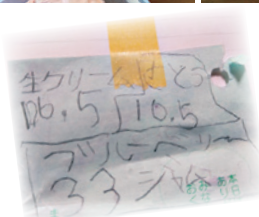
親子でお料理 楽しもう!

ブルーベリーヨーグルトのアイス

材料:

- ・ヨーグルト1パック 400g
- ・生クリーム1パック 200g
- ・ブルーベリージャム 100g
(今回は鳴子産ブルーベリー10:砂糖8の割合の手作りジャムを使用)
- ・砂糖 30g
(味見をして調整)

- 1 コーヒーフィルターにヨーグルトを入れ、冷蔵庫で一晩おいて水切りヨーグルトを作る。
- 2 生クリームを角が立つくらいまで泡立てる。
- 3 2に水切りヨーグルト、ブルーベリージャムを入れて混ぜる。
- 4 味見をして、甘さが足りなかったら砂糖を加える。
- 5 容器に入れ、冷凍庫で凍らせて完成!



試作中のメモ。
簡単に美味しい
割合を考之中。



※ 水切りヨーグルトを作る際に出る液体(ホエー)はいろいろな料理に使えるよ。
今回は、残ったジャムと氷と一緒にミキサーにかけてスムージーに。



というのがあるそうです。人も木も同じく、その土地の気候風土によって育まれます。何十年も鳴子の季節の移り変わり、天候、気温、湿度を知り尽くし、厳しい寒さに耐えてきたからこそ、家として姿を変えた後も、慣れ親しんだ自然環境のなかで、伸縮を繰り返しながらも、無理なく、狂いも少なく、長く生き続けるそうです。おかげさまで新しい園舎はすべて、鳴子とその周辺の山主さんから提供していただいた木を使わせていただきました。子どもたちもきっと、自分と同じ鳴子で生まれ育った木でつくられた園舎に愛着を持ってくれると思います。今後、この建物のねらいについて詳細に書いていこうと思います。よろしくお願いたします。

鳴子こども園 小林 休

フィールドミュージアムトレインに

M

第12回 鉄旅オブザイヤーで
パーソナル部門賞(個人旅行)を受賞

日本各地で赤字ローカル線存続の危機が叫ばれています。私たちが活動する鳴子温泉郷を走る「陸羽東線」もその一つで、宮城県の小牛田駅から山形県の新庄駅までの94.1kmを結ぶ鉄道です。そんな陸羽東線を「旅」を通じてもっと親しみをもってもらいたいという想いから、鳴子温泉もりたの会は、JTB、みやぎ大崎観光公社と『大崎耕土フィールドミュージアムトレイン』なるものを考案し、JR東日本の「風つこ号」を仙台・鳴子温泉間で貸切運行しました。

松島湾から水源の鳴子までを巡る移動ミュージアムの旅の始まりです！車窓の景色を見ながら、車内放送で「居久根」ってなんだ？、伊達政宗が若い頃を過ごしたまちはここか！と地理や歴史を楽しく学び、地元の美味しいお酒や料理に舌鼓。終点の鳴子温泉へ近づくと立ち上る湯けむりが乗客を迎えてくれます。鳴子温泉ではエコツアーに参加し、地域の文化にたっぷり触れてもらいました。

そんな鉄道旅の提案が、「第12回 鉄旅オブザイヤー」で「パーソナル部門賞(個人旅行)」を受賞しました！地域の発展を支えてきた「陸羽東線」に、新しい楽しみ方がひとつ増えました。フィールドミュージアムトレインは今年も運行を予定しています。あなたも鉄道の旅を通じて、陸羽東線の、そして大崎の魅力に触れてみませんか？



岩出山で農家を営む「よつちゃん農場」が作った陸羽東線沿線の食材がびっしり詰まったお弁当。



地元の酒蔵「宮寒梅」、「一ノ蔵」が土地の水と米で醸した日本酒を堪能。お酒を飲めるのも電車の醍醐味ですね。



乗ってみませんか？

夏のお庭の草取りに。 N

やってきました、草刈りハイシーズン！しんりんでは、6月に集中的に草刈り活動を行いました。それでも刈りきれないところは7月も引き続き、草刈り作業を行っています。みなさんもお庭の草取り進んでいますか？

この時期の庭の手入れで憂鬱なことと言えば虫刺され。虫よけスプレーを体中にかけてみたり、手入れをする植え込み周辺に直接虫よけを噴霧してから作業に

入ったり、何かと対策をしてみるものの、いまいち効果がなかったり、そもそも化学成分をお庭に散布することは避けたいという方も多いと思います。そこで、今回はしんりんスタッフが実践している虫刺され対策をご紹介します。



服装▷庭作業には長袖・長ズボンが必須です。蚊が寄って来るので黒は避けます。

頭▷夏の庭作業にもう一つ欠かせないものといえば帽子。日焼け対策として売られている、首の後ろから口元まで覆えるカバーが付いたもの、または写真のようなネットタイプがおすすめです。装着した時の視認性を重視しているスタッフは黒を使用しています。



手元▷軍手は作業時間と草の種類にあわせて選ぶとして、大事なのは手首。袖口から蚊が入り込まないようにしっかり手首をカバーしましょう。腕時計は、袖の上から装着すると便利です。

装備品▷あると嬉しい森林香。キャンプブームで広く知られるようになりましたが、スタッフはパワー強めを愛用中です。草取り作業では自分ひとりの身を守ればよいということで、スタッフはこれを腰から下げて作業しています。通常の蚊取り線香より煙が多く、作業後は体中が煙臭くなりますが、しっかり蚊やアブを遠ざけてくれます。(煙そのものの臭いはあまり気になりません。)

もちろん、これらの対策をしても虫刺されをゼロにすることは至難の業ですが、庭に出るたびに数か所刺されて毎日憂鬱…ということは減るのではないのでしょうか。今すぐできそうなものと、お店に行かないといけないものと思えますが、蚊に負けない美しい庭を維持したい！という方は是非参考にしてみてくださいね♪



足元▷夏の庭ではサンダルを履きたくありませんが、ここはしっかり長靴を履いて、ズボンの裾から蚊が入りこめないようにします。(ゴムでとめる、靴や靴下に裾をしまい込むなど)

スギ

(杉)

Cryptomeria japonica

木の図鑑

常緑の針葉樹も葉を落とします。スギも新しい葉を出してから古い葉を落とすため常に緑なのです。花だってつけます。葉の近くにつく丸い実はスギの松ぼっくりのようなもので雌花が結実したもの。中の小さな種は秋頃から風で放立ちます。花粉症で嫌われがちですが、それも子孫を残すため。あなたの足元にも小さなスギの赤ちゃんが芽を出していませんか？

現在、日本の森林で最も多いのがスギ林。そのほとんどが戦後の拡大造林で植えられたもの。比較的成長が早く建築用材等にも向くためです。花粉症で憎まれがちですが、それは人間の管理が行き届かないのも一因。今回は、きこり目線でスギの知られざる側面をご紹介します。

「スギボックリ」(左…
昨年「実」で空っぽ。
右…昨年の「実」)



先の明るい緑は芽のよ
うな部分。新しい葉が
これから開きます。



ペレットストーブ

夏真っ盛りのこの時期に暖房の話題です。暑かしいですね。

「ペレットストーブ」、最近の灯油や電気の値上がりの影響で耳にされた方もいるのでは？薪ストーブとファンヒーターの良いところ取りした暖房です。

燃料は、木くずを固めたペレットという、木質バイオマス燃料です。化石燃料や電気とは違い、エコロジーでエコノミーな暖房器具です。

宮城では、梅雨前から、メンテナンスシーズンになります。燃焼炉に貯まった灰の掃除、排気管やファンの中の煤の掃除を行います。冬場に使う気になった点や、普段の使い方のお話をしながら、作業を進めています。

お話の途中で、「最近、ファンの音が気になる」とか、「勢いよく燃えない時がある」などなど。そこから、パーツ交換のご提案をする時もあります。

ペレットストーブは、シンプルな構造なので、パーツ交換をしながら長く使って頂けます。



スギは、効率よく光合成できないなど生きるのに不利な枝を自ら落とします。窮屈な場所のスギは、陽の当たる方向だけに枝が残り、一本だけ見るとじつはアンバランスな枝つきも。ちなみに材に見られる「節」は、枝の痕です。

へんちくりんな形や、節を防ぎ、色や年輪の美しいスギを効率的に出荷するための間伐や枝打ちの手入れが、日本の美林とその機能の歴史を紡いできたようです。



ふんわり

「ふんわりのロゴが、
新しくなりました。」

CLOSE UP profile

comment

注文に沿った、節の少ない色味の良いものを扱うため、かなり気を遣う作業ですが直接人の目や手に触れるものなので、とてもやりがいを感じています。
また今回本誌のタイトルロゴのデザインをさせていただきました。誰でも気軽に手にとって頂けるよう、親しみやすく軽やかなデザインを意識しました。
豊かな自然と、そこに住む人々の暮らしを少しでも「ふんわり」とお届けできれば嬉しいです。ありがとうございます。

製材の様子



profile

小野寺 大さん

普段は主に木造住宅の美観を左右する造作材の製材を行っています。その傍ら自身も製品生産に携わりながらデザイナーとしての顔を持ち、小野寺さんデザインのイラストが刻印された木製コースターをはじめ、様々な木工品に色を添えています。また今号からリニューアルしたふんわりのロゴデザインも一から手掛けました。

杉の木コースター。栗駒山に群生するニッコウキスゲと栗原の豊かな自然をイメージしました。



プレゼント コーナー

希望の番号・ご応募の方の住所とお名前(プレゼント送り先)を書いてメール(左下のQRコード)か、ハガキでお送りください。その際以下の項目もお書き添えくだされば嬉しいです。【①ふんわりを読んだ感想(気持ちや気づき・編集部へのメッセージなど)②プレゼントを選んだ理由・使い道③ふんわりを手に入れた場所】



2

ふんわりすと湯村香子さんからご提供いただいた、「芽が出るえんぴつ」短くなって使えなくなったえんぴつを捨てずに、土に挿すことでハーブやお花の芽がでるほっこり&サステナブルな商品です。【3名様】

ふんわりと同じ森林認証紙で作った
10x10x10cmの立方体メモ【3名様】



点線で切り取り、ご希望の番号と感想をそえてご応募ください。
2023年10月31日まで有効
応募券

KURIMOKU

☎ 0228-55-3261

宮城県栗原市鶯沢袋島巡 44-7



トレーサビリティの確かな丸太の製材と建築用材、木材のカスケード利用(木材の副産物利用・残材利用)により生まれた家具・木工品、木質ペレットなど森林資源活用の中で作られた商品の提案と販売を行っています。

社会福祉法人 鳴子こども園



☎ 0229-83-2153

〒989-6825 宮城県大崎市鳴子温泉字上鳴子 19-1
<https://narukodomoen.jp/>

私たちは鳴子温泉地域で「自然の中で生きる力」を目標に教育保育を行っている認定こども園です。鳴子は自然、特に森のめぐみに育まれてきたすばらしいところです。そんな素敵なところに暮らしている子どもたちが「自然が大好き!」「鳴子に生まれてよかった」と感じ、生きる力が育まれることを願っています。

鳴子温泉もりたびの会

鳴子温泉字玉ノ木 70

<https://moritabi.org>

地元旅館や林業家、工芸家など多様な関係者からなる協議会。森林資源を活用した体験プログラムの提供により新しい旅の仕組みづくりを目指します。

NPO法人 しんりん

☎ 0229-25-4668

〒981-6711 宮城県大崎市鳴子温泉字玉ノ木 70 番地 エコラの森内
<http://shinrin.org/>
<https://www.facebook.com/NPOSHINRIN/>

森林再生と地域活性化を目指し、持続可能な森づくりときこりの育成を実行中。



キーワードを「ふんわり」にして
集まったわたしたち。
業種もフィールドも違うからこそ、
ユニークでオンリーワンで、
おもしろいことができそうです。

栗原市●

●大崎市

●加美町

●仙台市

ウェスタ

☎ 0228-25-4714

〒981-4254 宮城県加美郡加美町字北町三番 44-1

<https://woodenergy.co.jp>

木質バイオマス燃料の製造、CHP、木質チップボイラーや薪ボイラーの導入、ペレットストーブ販売、熱供給を行っています!!

サスティナライフ 森の家

☎ 0120-317-618

〒981-3225 宮城県仙台市泉区福岡字西森下 39-13

<https://www.sustainallife.co.jp/>
<https://www.facebook.com/sustainallife>

地域の資源や職人の技術を受け継ぐ「サスティナブルな暮らし」を提案する住宅会社。



About Us

記事執筆・お問合せ…記事最後のアルファベットをご参照下さい

S サスティナライフ森の家

N NPO 法人 しんりん

W ウェスタ

K KURIMOKU

M 鳴子温泉もりたびの会

G 社会福祉法人鳴子こども園

funwari 児童文学

鳴子こども園職員おすすめの児童文学を紹介します



かみさまからの おくりもの

ひぐちみちこ 作

年齢の目安 3歳から5歳ごろまで

28ページ サイズ 19×24cm

定価 1,320円(本体 1,200円)

ISBN 978-4-7721-0077-9

1984年発行/全国学校図書館協議会選定

誕生のとき、神様が一人一人の赤ちゃんにくださる贈り物。それはその子の個性。子どもは、自分のもらったものに気づき、親は、子が授かった感謝の気持ちに立ち返る印象的な絵本。出産祝いに贈られ続けています。

ふんわり 第45号

2023年8月10日 季刊(年4回発行)

ふんわり編集部

〒989-5333 宮城県栗原市栗駒片子沢山城54番

☎0228-25-4697 E-mail funwarinfo@gmail.com